



題字 / 西尾 邑次  
名誉会員揮毫

第 18 号  
2004年5月25日発行  
東京鳥取県人会事務局  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F  
電話 03(5212)9178  
FAX 03(5212)9079  
発行責任者 / 齋木 勉  
編集 / 幹事会編集委員  
http://www.tokyooffice.pref.tottori.jp/

### 鳥取県の市町村合併の現況 東郷湖周・東伯郡西部両地区は合併固まる 今後も合併相次ぐ模様 単独を選んだ境港市、岩美町、日吉津村



いま地方自治を取り巻く大(87%)が11の合併協議会を  
きなテーマとして、市町村合 設置して合併に向けて協議を  
併があり、全国の三、一〇〇 進めています。(5月10日現  
市町村のうち、一、八九三市 在、別紙同封地図参照)  
町村(61%)が五三三のほ 多くの市町村が今年度中の  
の合併協議会に参加して合併 合併を目指して協議を行って  
の是非を議論しています。四 いますが、このうち、東郷湖  
月一日現在)では、ふるさ 周地域(羽合町、泊村、東郷  
と鳥取の動向はどうか、 町)と東伯郡西部地域(東伯  
県市町村振興課に報告してい 町、赤崎町)の合併について  
ただきました。(編集部) は、すでに、2月の県議会の  
県内の市町村合併の状況 合併の議決を経て知事が合併  
りますが、そのうち34市町村 決定し、4月には総務大臣  
併日(東郷湖周地域:10月1 的意見も反映させるための  
併日(東郷湖周地域:10月1 手段として住民投票が活用さ

### 受章おめでとうございます 春の叙勲旭日大綬章に平林鴻三氏



去る4月29日本会員の平林鴻三氏(写真)が旭日大綬章を受章されました。氏は郵政大臣や県知事を歴任され、国政や地方自治の発展に尽力されました。

「本人から次のように語っていただきました。『県人会の皆様には長い間お世話になり、お陰様で受章させていただきました。現在引退して鳥取に住んでいますが、今後もどうぞよろしくお願いします。』

鳥取環境大学では開学以来四年目を迎え、一年生から四年生まで計千四百数十名の学生が、花と緑と鳥の声に包まれたキャンパスで勉学、課外活動等に励んでいます。

さて、今年度は本学初めての卒業生が社会に巣立つ年度であります。一部の業種は企業に明るい兆しが見えてきたとは言え、雇用環境には依然として厳しいものがあります。その中で、第一期生は、これまでに大学内外で培ってきた知識、経験、能力を最大限に発揮して、県内のみならず、出身地である東京、大阪など県外でも就職活動を進め、また僅かではありますが、採用内定の声も聞こえてくるようになりました。

先輩も無く、入学当初からすべて自分達の知恵と努力でこの大学を形作るものにしてきた第一期生は、後輩達にとりまして希望の星であり、教職員からの色々な支援を得ながら、この難局も自らの力を振り絞って突破してくれるものと期待しています。

東京鳥取県人会の皆様として鳥取県東京事務所の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。(鳥取環境大学学務課)

### 嘘のような本当の話

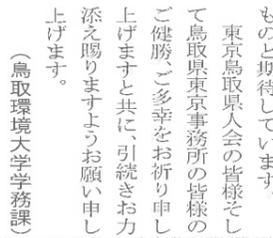


東京鳥取県人会幹事 野口 賢照

何時であったか、郷里の友人から「君の冗談はこの辺りでは通じないよ」と言われたことがある。仕事の癖で、忘れられない製菓関係に、私はよく空想的な突拍子もない発言をしようとした。ニマリすることがある。私は四十年以上、特許という厄介な仕事をしているが、忘れられない製菓関係に、製菓品の外観から抵抗がどうか、分らないこともあって、製造方法を改良しながら製造販売量と利益などを調査も推定もしていないことが多かった。そこで私は「こんな小さな貧乏な会社は、貴社と比較すれば、吹けば飛ぶようなものだ。」と煽りかけかけた。相手は少しの土産で納得して帰るかも知れないと直感した私は、有ろう事か桁違いの百万円の提案を試みた。「OK」の返事に、一瞬わが耳を疑った。顧客の会社が訴訟の回避に安堵したことは勿論、大金の節約に大喜びしたことは言うまでもない。(小川・野口・斎下特許事務所 所副所長 弁理士)

### 合併後のまじり

今年度中に県内でも多くの市町村合併が予想されますが、改めていうまでもなく、市町村合併はゴールではなく、地方分権時代に対応するべく、地域自らが選択した新しい自治体のスタートです。地域住民自らが参画する自立したまちづくりが一層期待されています。(市町村振興課分権推進室)



### 鹿野町 歴史溢れる城下町、自然豊かな景観

鹿野町は県東部の西側に位置し、名峰鷲峰山(すずね)のすそ野に広がる町です。古くは東部と中部を結ぶ要衝として栄え、とくに戦国から江戸時代初期鹿野城主の亀井茲矩公のころには城を中心とした城下町が作られ、現在でもその面影が各所に残っています。

また、亀井公の時代から続く伝統に鹿野まつりが地元住民の手で守られ、400年の歴史の鼓動を今に伝え続けています。

京格子や白壁も... 鹿野城主亀井茲矩公が整備した鹿野の城下町。その中心地には亀井公の義理の兄で戦国武将の山中鹿介を祀う幸盛寺が建立されています。城下町の面影は今でも各所に残され、京格子や白壁づくりの町屋や、商人が荷駄車を引く牛や馬などをつなぐ牛つなぎ石などが町内に点在しています。

### 鳥取環境大学 来年第一期生が卒業で 早や就職活動

鳥取環境大学では開学以来四年目を迎え、一年生から四年生まで計千四百数十名の学生が、花と緑と鳥の声に包まれたキャンパスで勉学、課外活動等に励んでいます。

さて、今年度は本学初めての卒業生が社会に巣立つ年度であります。一部の業種は企業に明るい兆しが見えてきたとは言え、雇用環境には依然として厳しいものがあります。その中で、第一期生は、これまでに大学内外で培ってきた知識、経験、能力を最大限に発揮して、県内のみならず、出身地である東京、大阪など県外でも就職活動を進め、また僅かではありますが、採用内定の声も聞こえてくるようになりました。

先輩も無く、入学当初からすべて自分達の知恵と努力でこの大学を形作るものにしてきた第一期生は、後輩達にとりまして希望の星であり、教職員からの色々な支援を得ながら、この難局も自らの力を振り絞って突破してくれるものと期待しています。

### 新旧鳥取県東京事務所の「ごあいさつ」

4月1日付人事異動で下田弘嗣東京事務所長が企画部次長(異動)となり、岡崎功氏が新所長に就任しました。

初めの都生活で、まだ余裕もありませんが、豊かな自然と優れた歴史と文化のある鳥取県の魅力を東京をはじめ、全国に発信していくよう職員と一緒に取り組んでまいりますので、会員皆様の御支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

旧所長 下田 弘嗣  
新所長 岡崎 功

親切・サービスをモットーに  
海外、国内、大小の旅のご用命  
受け承ります。  
第一航空サービス株式会社  
社長 古賀 信三  
TEL.03-3263-1891 FAX.03-3237-1504

至純を追求する  
揺るがぬ姿勢  
梅家  
大山崎 梅家  
久米 梅家  
Tottori-shi, Tottori-ken  
Tel: 0859-22-1111  
FAX: 0859-22-1111

MONOPLAN  
株式会社モノプラン計画事務所  
代表 小野 憲彦  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-6-404  
TEL.03-3406-5449 FAX.03-3406-5620  
E-mail: monoplank@aol.com

琳々  
馬場 千代 (ほんぼ ちよ)  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-20 幸佑ビル2F  
電話 03-3574-1300 携帯 090-7121-9750

地域の夢、お客様の夢をかなえる  
創造的なベストバンク  
株式会社山陰合同銀行東京支店  
東京都中央区日本橋兜町15-6 〒103-0026  
TEL. 03-3669-0211 FAX. 03-3639-5250  
URL: http://www.gogin.co.jp

東京事務所情報

「鳥取二十世紀梨は今年、一〇〇年目を迎えます。」

二十世紀梨が千葉県松戸市から鳥取県へやってきて、今年で一〇〇年になります。東京事務所では、3月1日(月)〜31日(水)の期間、都営地下鉄、京浜急行電鉄、新京成電鉄車両内に広告ステッカーを貼り、「鳥取二十世紀梨一〇〇年」をPRしました。(左写真)



とっとりウオー ク開催計画

これを記念してこの夏から秋にかけて県内でも、一〇〇周年に因るイベントが企画されています。昨年開催して大好評だった都内にある鳥取県ゆかりの地を巡るウオーラリーを今年も計画しています。詳しい内容が決まり次第、会員の皆様にお知らせさせていただきます。(9月中旬開催予定)

とっとり

花回廊

5周年を迎えて

とっとり花回廊は、平成11年4月18日に全県公園化構想の促進と憩いの場の提供、ならびに観光振興の拠点施設として開園いたしました。振り返れば開園初年度は110万人のお客様が来園されましたが、花が少ないといった不満の声にさらされるとともに、その後の鳥取県西部地震などで入園者数が46万人までに落ち込みました。



▲花いっぱいのとっとり花回廊風景

しかし、園内の整備をはじめ、多くの取り組みの結果、近年はお客様の満足度も上がり、リピータの方も多くいらっしやるようになりました。平成15年度は51万3千人のお客様が来園され、花々に癒され、感動してお帰る方も多くいらっしやるようになりました。今後とも暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。鳥取県立とっとり花回廊 園長 上場 重俊

春爛漫の下、因伯オープン 優勝者は香月巖さん



第11回因伯オープンは、4月7日(水) 好天の桜花爛漫の下、船橋カントリークラブで行われました(写真上)。出席者は26名で、入賞者は次の通りでした。優勝 香月巖(写真左)、準優勝 三刀谷毅(写真右)、三位 鳥飼公雄。懇親会の席上、次回の開催

東京にある鳥取県ゆかりの飲食店紹介

鳥取県出身のオーナーや鳥取の食材を使った料理を出してくれる首都圏にある飲食店を紹介する冊子「とっとり」を発行しました。これまで、梨花でも紹介された店など約40店が掲載されています。この冊子は、鳥取県東京事務所までご連絡ください。(03-5212-9077 橋本迄)

まぼろしの作家「尾崎翠」

昭和初期に活躍し、忽然と姿を消した鳥取県出身の幻の女流作家・尾崎翠の国際フォーラムが鳥取市で開催されます。また、「尾崎翠文学散歩ツアー」と題し、大岩尋常小学校や岩井温泉など、尾崎翠にゆかりのある地を巡るツアーも予定されています。(要予約)

県人のお店

ゲゲゲの鬼太郎と郷土の味覚に会える 鬼太郎茶屋



東京・武蔵野の深大寺の門前にある古い二階建ての田舎屋。これが「鬼太郎茶屋」だ。「ゲゲゲの鬼太郎」のテーマソングが流れる駄菓子屋風の店内には、境港市出身で、ご当所調布市在住40年という漫画家水木しげる氏の「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪たちのグッズが所狭しと並べられている。



▲水木先生をばさんで木村夫妻

老舗のそば屋を大改造したこの店のレイアウトも、すべて先生に確認していただきました。店主の木村正明さん(写真)。文房具店を営む木村さんは、境港の「水木しげるロード」で制作販売した鬼太郎文具の大人気が、この「鬼太郎茶屋」の味覚に会える。おおいと感激した鳥取の味を多くの人に味わってもらいたい」と、店の奥のお休みのみ処には「鳥取メニエ」を並べた。佐治谷直送の二十世紀梨のシャーベットや大山牛乳のソフトクリーム、大山山麓のこんにやくのおでん、あご野焼きかまぼこ、ささかいかい、白いか一夜干しなど数々の郷土の味が、3000〜6000円と手頃。鳥取県の地酒も充実していて、酒飲みにはうれしい。特に「鬼太郎ビール」は国内外の地ビールコンテストで受賞した逸品だ。東京都調布市深大寺元町5-12-8 営業時間10AM〜5PM 定休日月曜日(祝祭日の場合は翌日に振替)。TEL 0424-8214059 写真・文 加藤雅子



鳥取県はそのままだけなあ!

「一見難解そうなのこの理論「初動負荷理論」がいまや世界のスポーツ界を変えようといわれるのだが、その指導書が「奇跡のトレーニング」(写真)である。イチローは天才だと思っていたが、この本を読んだら彼のプレーには小山理論に裏付けされた実践者だったことに気がかされる。しかも、この理論が他のスポーツにも共通しているというから凄い。その証拠に、小山理論の信奉者はゴルフの青木功しかり、陸上の末續慎吾、テニスの杉山愛、サッカーの藤田俊哉と一流プロが続々である。馬の初動は前肢、それとも後ろ肢なる設問(正解は後ろ肢)は動物生態学からの発想であるが、人間本来の機能も動物に共通している点にも指摘している。これは、骨格をイメージした医学的見地からであるが、時にそれが哲学的であったり、この理論が革命的といわれるゆえに

「万葉美人 知つとんさるか? まあ食べてみんさい!」

名水で、減農薬、減化学肥料栽培というこだわりの米だ。いわく、「15年度は冷夏のためお米が不作でした。若干高めになりますが、10年前の不作と旧交を温め、お台場のレスと旧交を温め、お台場のレスとは違い、国内産備蓄米が十分有り、政府農水省は、需給に当たりにながら、ひとしきり公表していただきます。」



鳥取市の南吉方にワイルドウィングスというトレーニング施設がある。ここで指導している小山裕史さんのスポーツ理論が、近年国内外で注目されている。

鳥取市の南吉方にワイルドウィングスというトレーニング施設がある。ここで指導している小山裕史さんのスポーツ理論が、近年国内外で注目されている。

本のお求めは、お近くの書店または同封の注文書で直接(株)ワールドウィング(0857-2714773)へお申し込み下さい。(遠藤隆司)

山陰弥生文化シンポジウム

「山陰に弥生王国は実在したのか?」

今回で3回目となる山陰地方(鳥取県、島根県)の弥生時代をテーマとしたシンポジウムが7月4日(日)、メルパルクホール(東京都港区芝公園2-5-20)で開催されます。激動した邪馬台国時代における山陰、九州、ヤマトの関連や山陰の独自性について議論を交わし、「弥生王国」に迫ります。金岡 恕氏の講演があり、パネル展示や出土品のレプリカ展示のほか、鳥取県や島根県の遺跡を紹介します。詳しくは同封のパンフレットをご覧ください。お問い合わせ:鳥取県教育委員会事務局文化課 木俣田・青谷上寺地遺跡整備室 TEL 0859-267934